

肝炎ウイルス検査を

受けましょう！！



肝炎とは、肝臓が炎症を起こし、肝細胞が壊れて肝臓の働きが悪くなる病気です。

特にB型肝炎、C型肝炎を主とするウイルス肝炎は、国内最大級の感染症と言われています。

過去に気付かないうちに感染している恐れがあり、**放っておくと肝硬変や肝臓がんなどへ進行する危険があります。**

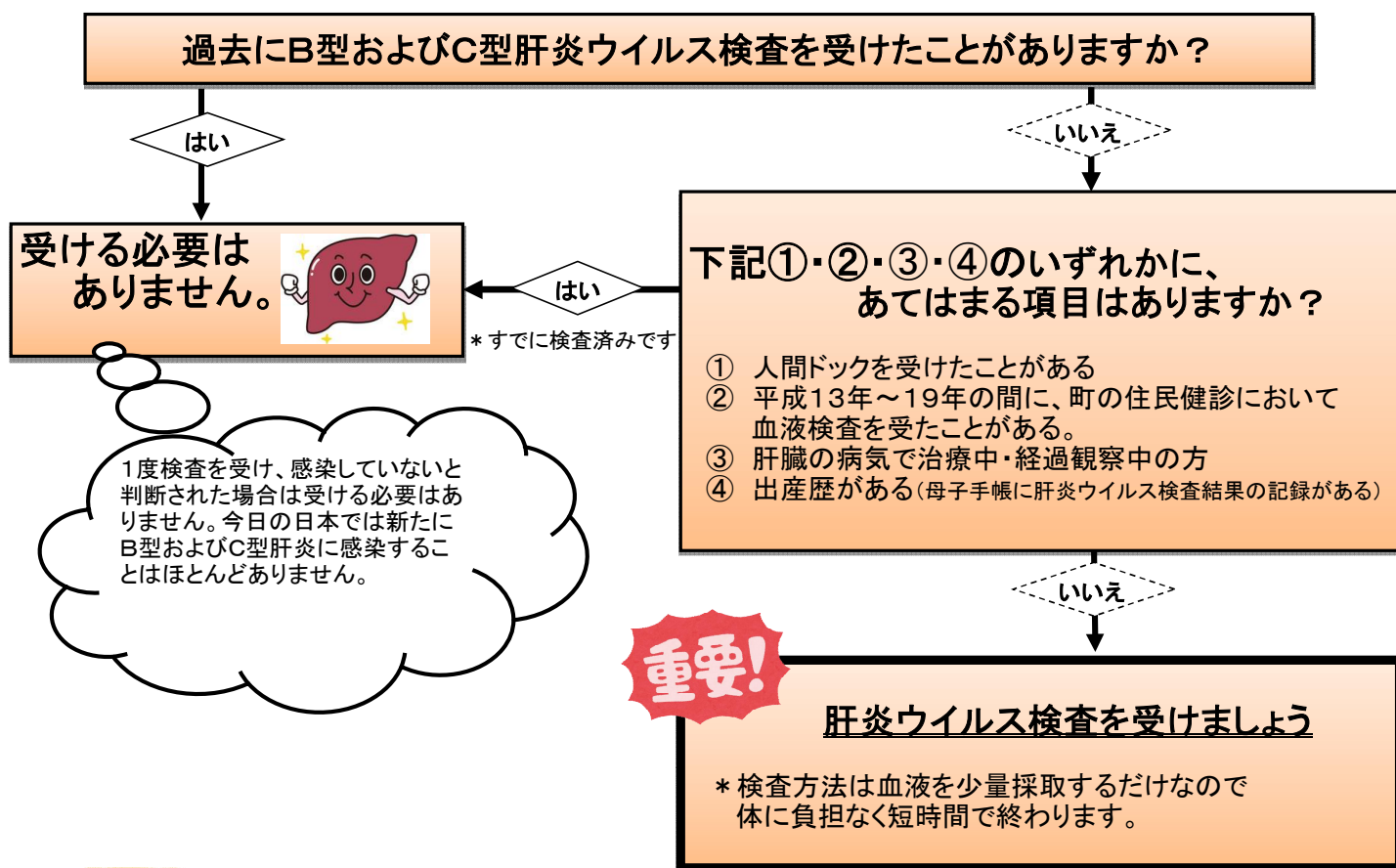
もし肝炎に感染していた場合には、早期に適切な医療を受けることが大切です。

肝炎ウイルス検査は採血検査で判断できます！！

下記の図をご参照いただき、肝炎ウイルス検査の対象の有無をご確認ください。



◆◇肝炎ウイルス検査 対象確認フローチャート◇◆



注意

* 誰でも感染する可能性がある肝炎ウイルスですが、下記にあてはまる場合は検査をおすすめします。

- 平成4年(1992年)以前に輸血を受けたことがある
- 平成6年(1994)以前にフィブリノゲン製剤を投与された
- 血液凝固因子製剤を投与された
- 長期に血液透析を受けている
- 臓器移植を受けている
- 薬物などの注射の回し打ちをしたことがある
- 新たに性的関係を持つ人ができた
- ピアスをしている
- 過去の健康診断などで「肝機能異常」と指摘をされたことがある

